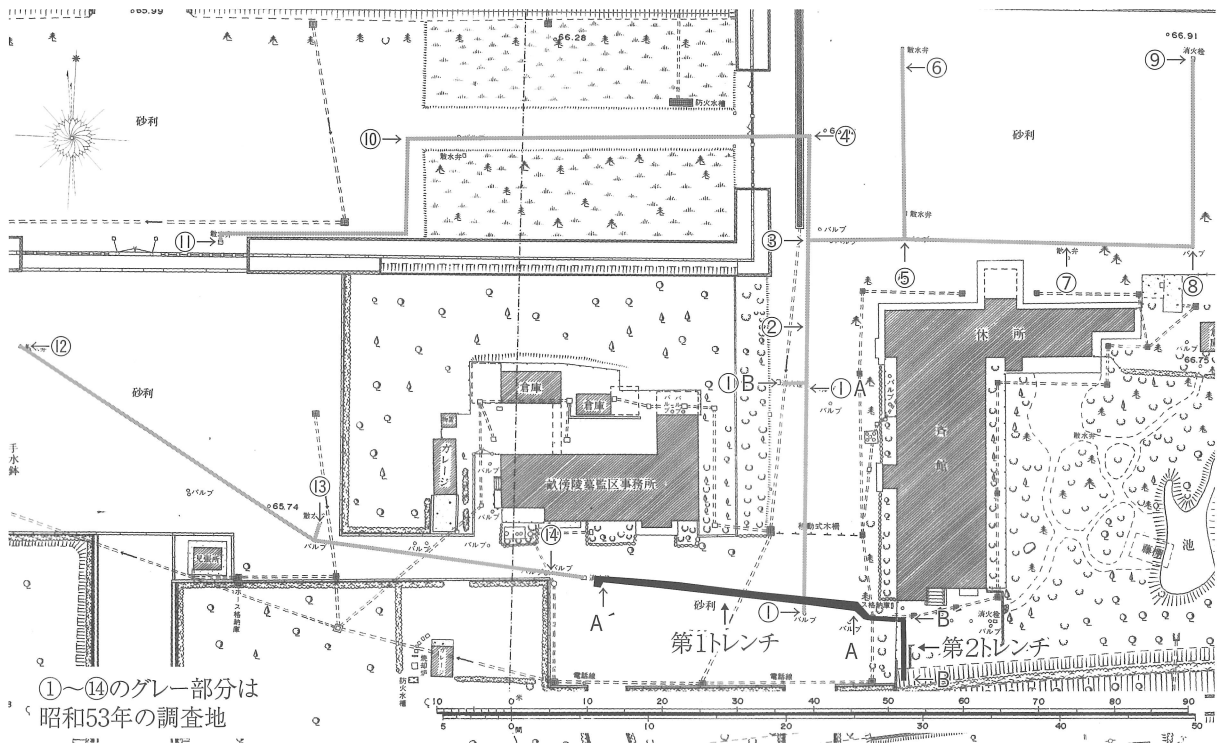


まとめ

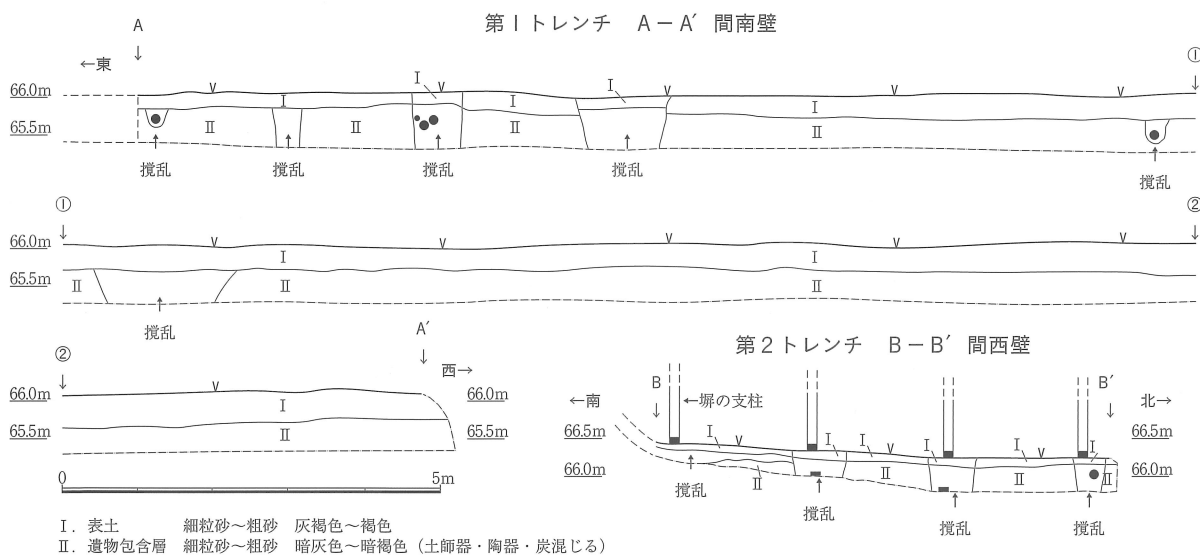
今回の立会調査は、昭和 53 年度におこなった調査の結果をふまえ、遺物の多量出土などに注意した。しかし、調査の結果、遺物の出土は少量で、遺構も検出されなかったため、整備工事は予定どおり施工した。Ⅱ層については、昭和 53 年度調査の報告でも、相当広範囲に広がるものと想定されていたが、今回の調査でも広範に堆積している状況が確認できた。(横田真吾)

註

(1) 笠野 毅「畝傍陵墓監区事務所水道管理設工事箇所の調査」『書陵部紀要』第 30 号、宮内庁書陵部、1979 年。



第 37 図 畝傍山東北陵 トレンチ配置図 (1/1,000)



第 38 図 畝傍山東北陵 第 1・2 トレンチ断面図 (1/100)



1 調査地全景（西から）



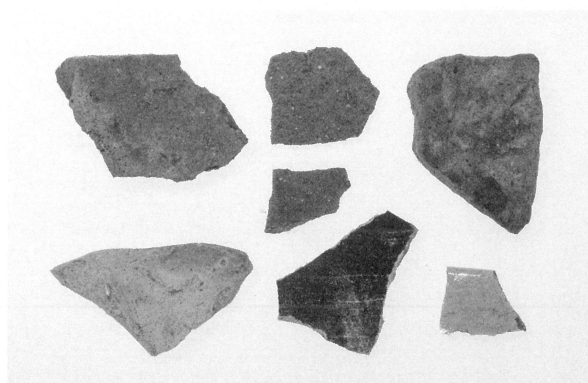
2 第1トレンチ 全景（西から）



3 第1トレンチ 北壁の土師器（南西から）



4 第1トレンチ 東端（西から）



5 第1トレンチ出土品（土師器・陶器）



1 第2トレンチ 全景（北から）



2 第2トレンチ 全景（南東から）